



販売用資料

2016年6月24日

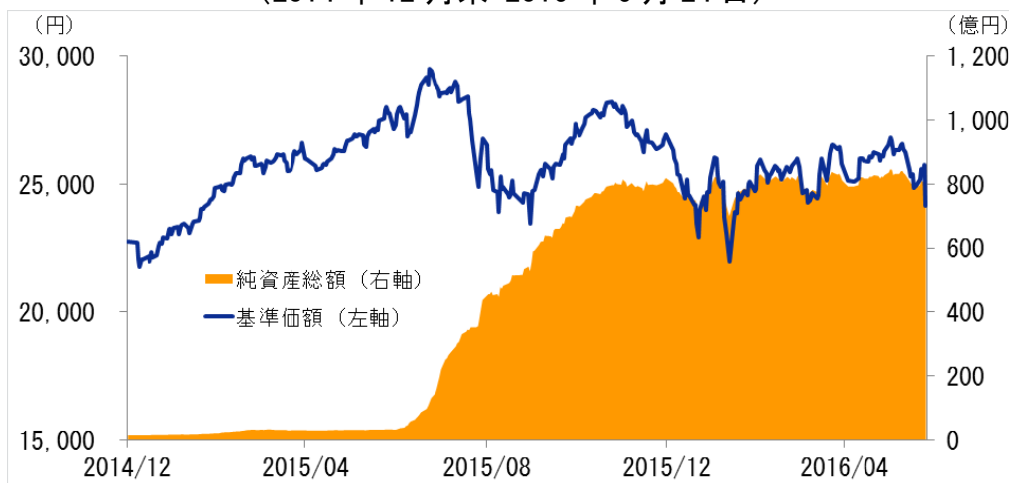
ご投資家の皆様へ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

スパークス・新・国際優良日本株ファンド(愛称:厳選投資)
本日の株式市場の大幅下落と今後の運用方針について

6月24日の日本株式市場は大幅に下落しました。日経平均株価で前日比1,286円33銭(-7.92%)、TOPIXで前日比94.23ポイント(-7.26%)の下落となっており、当ファンドの基準価額も前日比1,513円(-6.29%)の下落となっております。本日の市場動向と当ファンドの今後の運用方針に関して、弊社の見通しをコメントさせていただきます。

基準価額(税引前分配金再投資)と純資産総額の推移
(2014年12月末-2016年6月24日)



(ご参考)設定来の基準価額(税引前分配金再投資)と純資産総額の推移
(設定日前営業日(2008年3月27日=10,000円)-2016年6月24日)



出所: スパークス・アセット・マネジメント、FactSet

※基準価額(税引前分配金再投資)は当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。

1. 株式市場について

大方の想定と異なり、イギリスの国民投票によって EU（欧州連合）離脱派が勝利したことから、為替市場が大きく円に対してポンド安、ユーロ安、ドル安へと動き、株式市場も急落し、日経平均は 15,000 円を割れる展開となりました。予想に反したイベントが起こったときの市場の反応は激しいものであり、また直前まで残留の可能性が高いと市場では見られていたことから、その反動ショックが余計に大きく現れたものと思われます。

確かに円高が急速に進んだことの日本の輸出産業への影響は避けられませんが、金融市場とは異なり、実際のビジネスにおいては、為替レートは長期的な観点によって動くものです。

したがって、現在 100 円台にドルに対して円が急騰したからといって、すぐに直接ビジネスや企業収益に影響が出てくるものではないことから、まずは冷静に今後の反応を見る必要があると思います。また、現実には、イギリスが EU 離脱を決定したとしても、具体的な条件は今後交渉して決まることになることから、必ずしも日本企業の経済活動に大きな影響がすぐに現れるものではありません。本日の株式市場は、企業の実体に関わらず内需、外需、製造業、非製造業すべての株価が急落しているということは、影響の少ない、またはプラスの影響がある日本企業への株式投資にとっては大きなチャンスであり、私どもは、今後も、それらの企業を発掘してまいりたいと思います。

さて、イギリス政府の統計から、現実としてのイギリスの経済、企業への影響を考えてみましょう。

2014年のイギリスの輸入額上位国の構成比と1999年から2014年までの変化率

	国名	輸入構成比	99-'14伸び率
1	ドイツ	13.3%	125.8%
2	アメリカ	10.0%	42.9%
3	中国	7.3%	891.9%
4	オランダ	7.2%	135.2%
5	フランス	7.0%	40.6%
6	スペイン	4.6%	79.0%
7	ベルギー	4.4%	105.3%
8	イタリア	4.1%	74.8%
9	ノルウェー	3.8%	379.4%
10	アイルランド	3.3%	52.6%
14	日本	1.9%	-1.8%
	合計	100%	108.9%

この表は、2014年度でのイギリスの輸入額の大きい国と、過去15年間の伸び率を表したものです。これら国々は、EU経済の拡大に伴い、イギリスへの輸出が拡大した国ともいえると思います。これを見ると、当然ドイツを筆頭に、ヨーロッパ各国のイギリスへの輸出が増えていることがわかります。また、アメリカ、中国も大きく上昇しており、イギリス経済の成長の恩恵を受けていたと考えられます。一方、日本は、1999年には9位でしたが、2014年には14位に下がり、過去15年間の輸出額の伸び率はマイナスとなっております。その点では、日本はイギリスの今までの成長の恩恵をほとんど享受していないこととなります。

したがって、今後のイギリス経済がEUから離れ、他の国との直接の貿易関係を確立する方向になった場合には、日本が取引相手国として復活する可能性もあるため、イギリスのEU離脱によるダメージも少ないのではないかと考えます。

また、日本から見たイギリスへの輸出、輸入の構成比率ですが、

	輸出比率	輸入比率
1999	3.3%	1.8%
2014	1.6%	0.8%
2015	1.9%	1.1%

上記のように非常に小さく、また最近は若干増加傾向にありますが、輸出、輸入とも全体の2%に満たない貿易相手国であり、直接の影響は微小とされます。ただし、EU 諸国の経済状況への影響は避けられないと思いますし、間接的にアメリカ、中国のマイナスの影響を受けるリスクはありますが、アメリカ、中国、EU 諸国に比べて日本の影響は小さいということは確かです。

したがって、もちろんイギリスのEU 離脱による世界経済の悪化の影響は慎重に検討する必要がありますが、日本は、他国に比べて影響が小さいこと、また金融面での資金収縮が起こった場合でも、金融システムの安定性と、自国内の潤沢な金融資産が下支えすることから、市場が冷静さを取り戻した場合には、日本株式市場への資金シフトが想定されると考えます。

2. ファンドの運用方針について

イギリスの EU 離脱により、当ファンドの保有する個別企業の株価にマイナスの影響を与えることは少なくとも短期的には不可避であると考えます。その波及経路は、企業業績に直接マイナスの影響を与えることや、投資家心理の悪化で株価が売られる場合などです。

しかしながら、企業は、これまでも様々な政治・経済イベントを乗り越えてビジネスを成長させ、ひいては、生み出された富を通じて株価を増大させて来たことを忘れてはなりません。

冷静に考えれば、経済活動がどんなに停滞しようとも、人々が生活をしていくうえで消費活動は続けなくてはなりませんし、企業の生産活動がゼロになる事はあり得ないからです。

1980 年代からの日本経済を振り返っても、1980 年代半ばの 1 ドル 250 円水準から今日にかけて日本円の価値は倍以上（円高）になりましたが、日本の多くのグローバル企業は利益を数倍に拡大させています。とりわけ私どもが投資している企業はこの 30 年間で利益を 5~10 倍以上に増やしているのです。過去 30 年間という、ブラックマンデー（1987 年）、日本のバブル景気終焉（1990 年代前半）、円高不況（1990 年代半ば）、アジア通貨危機（1990 年代後半）、インターネットバブル崩壊（2000 年）、米国同時多発テロ（2001 年）、国内金融危機（2003 年）、サブプライムローン危機（2008 年）、欧州債務危機（2010 年）、東日本大震災（2011 年）など、株式市場パニックのきっかけとなったイベントは枚挙に暇がありません。

当ファンドの運用戦略に大きな変更はありません。即ち、今までどおり「参入障壁に守られ、卓越した経営陣によって経営されている魅力的な企業」への投資を継続して参ります。現在の下落相場局面は、こういった企業の株をより割安な価格で買い増せる絶好の機会です。

株式投資で成功するためには、近視眼的な投資行動ではなく、その先を見越した賢明な判断が求められます。今回もこの投資原則を忘れずに運用にあたってまいります。

今後ともよろしく願いいたします。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
取締役 CIO 藤村 忠弘



スパークス・新・国際優良日本株ファンド 愛称：厳選投資

ファンドの目的

当ファンドは、日本の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。

ファンドの特色

1. 高い技術力やブランド力があり、今後グローバルでの活躍が期待出来る日本企業を中心に投資します。
2. ベンチマークは設けず、20銘柄程度に厳選投資を行います。
当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
3. 原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とします。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社について

- ◆ 一貫した投資哲学と運用プロセスを実践する独立系運用会社です。
- ◆ スパークスは、1989年の創業以来、株式市場を取り巻く環境がいかに厳しくとも「マクロはミクロの集積である」という投資哲学の下、ボトムアップ・リサーチを行っております。

親会社であるスパークス・グループ株式会社は JASDAQ 市場(銘柄コード8739)に2001年12月に運用会社として初めて上場いたしました。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・新・国際優良日本株ファンド

愛称：厳選投資

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、主として国内の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

信用リスク

- ・ 組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。
- ・ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

その他の留意事項

●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- ・ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・新・国際優良日本株ファンド 愛称：厳選投資

お申込メモ(お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

ファンド名	スパークス・新・国際優良日本株ファンド(愛称:厳選投資)
商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	平成20年3月28日から平成40年3月27日
決算日	毎年3月27日(休日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。
お申込時間	各販売会社で毎営業日お申込いただけます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込単位	販売会社が定める単位
お申込価額	お申込受付日の基準価額
解約のご請求	販売会社の毎営業日に販売会社が定める単位で解約を請求することができます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。 ※委託会社は金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときには、解約請求の受付を中止することができます。
解約価額	解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
解約代金の受渡日	解約請求受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。

お客様にご負担いただく手数料等について

下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込時】

■お申込手数料: お申込受付日の基準価額に **3.24%(税抜 3.0%)** を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額

【ご解約時】

■信託財産留保額: 解約請求受付日の基準価額に対して **0.3%** の率を乗じて得た額

■解約手数料: なし

【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬: 純資産総額に対して **年率 1.7712%(税抜 1.64%)**

■その他の費用等

- (1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用(純資産総額に対して上限年率 0.108%(税抜 0.10%))
- (2) 有価証券売買時の売買委託手数料等は、ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。

課税上の取扱いについては投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号: 03-6711-9200(受付時間: 営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・新・国際優良日本株ファンド

愛称：厳選投資

ファンドの関係法人について

●委託会社 **スパークス・アセット・マネジメント株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
 (加入協会) 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
 信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●受託会社 **三菱UFJ信託銀行株式会社**

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託を行います。

●販売会社 **下記一覧参照**

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引 業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第142号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○		○
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長 (金商)第43号	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社 かんたんダイレクトサービス専用	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第140号	○	○		○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネ ジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第346号	○		○	○

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号: 03-6711-9200(受付時間: 営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。